

会計名			家庭教育啓発指導事業				担当部	教育部		
一般会計							担当課	生涯学習課		
款	項	目					担当係	青少年係		
10	6	5								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	青少年育成							
		施策の内容	家庭教育の推進							
	目的	青少年育成市民運動の啓発、夜間街頭補導への参加、関係行政機関・団体との連携や連絡等を行い、地域における青少年健全育成の推進を図る。	主たる内容	○青少年育成市民運動地域推進員連絡協議会の開催 ○家庭教育啓発講演会の開催 ○市民運動強調月間等における街頭啓発活動の実施 ○研修会の実施 ○夏季特別夜間街頭補導への参加 ○中学校区生活指導懇談会への参加						
	位置づけ	関連計画								
		根拠法令		刈谷市青少年育成市民運動地域推進員設置要綱						
		対象者	市民		事業期間	～				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業実績 D 実績 O 実績 A 実施 V	27年度実績		28年度実績		29年度実績		30年度計画		
		・青少年育成推進員連絡協議会 3回 ・家庭教育啓発講演会 1回 ・街頭啓発活動 3回 ・夜間街頭補導 2回 ・施設研修 1回 ・中学校区生活指導懇談会 3回		・青少年育成推進員連絡協議会 3回 ・家庭教育啓発講演会 1回 ・街頭啓発活動 3回 ・夜間街頭補導 2回 ・施設研修 1回 ・中学校区生活指導懇談会 3回		・青少年育成推進員連絡協議会 3回 ・家庭教育啓発講演会 1回 ・街頭啓発活動 3回 ・夜間街頭補導 2回 ・施設研修 1回 ・中学校区生活指導懇談会 3回		・青少年育成推進員連絡協議会 3回 ・家庭教育啓発講演会 1回 ・街頭啓発活動 3回 ・夜間街頭補導 2回 ・施設研修 1回 ・中学校区生活指導懇談会 3回		
成果		青少年育成市民運動地域推進員の活動を通して、青少年の健全育成や人間形成の基本となる家庭教育の重要性について啓発し、家族がふれあい、絆の強い明るい家庭づくりを促進した。								
課題		青少年育成市民運動地域推進員の氏名、活動内容等を市民だよりで広報しているが、あまり認知されていない。								
指標名称（単位）				実績値			目標値			
				27年度	28年度	29年度	30年度	32年度		
活動指標		街頭啓発活動（回）			5	5	5	5	5	
成果指標		講演会参加者数（人）			233	164	174	250	250	
他市との比較検証										
C 事業コスト V		単位：千円		27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（予算）	29年度事業費内訳		
	事業費 ①		384	339	321	410	合計		320,698 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	報償費		154,000 円	
		一般財源	384	339	321	410	需用費		139,698 円	
	職員人件費 ②		1,959	2,345	2,016	2,028	使用料及び賃借料		27,000 円	
	総事業費（①+②）		2,343	2,684	2,337	2,438				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		29年度特定財源名称				
29年度までの累積事業費		0								
31年度以降の事業費見込		0								

会計名			<b>家庭教育啓発指導事業</b>	担当部	教育部
一般会計				担当課	生涯学習課
款	項	目		担当係	青少年係
10	6	5			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 法的業務</li> <li>・ 市民ニーズ、社会需要</li> <li>・ 市民生活上必要である など</li> </ul>		高い	子どもを健やかに育てる最初の間である家庭の役割の重要性について啓発を行う必要がある。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ コストの節減、費用対効果</li> <li>・ 執行体制の効率性</li> <li>・ 手段の最適性 など</li> </ul>		高い	青少年育成市民運動地域推進員を設置し、学校、PTAと街頭補導等を合同で行うことにより、学校、家庭、地域との連携を図ることができる。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市が主体となって実施すべき事業であるか</li> <li>・ 総合計画との整合性 など</li> </ul>		普通	青少年育成に関する市民への意識啓発については、市が主体となって行うことが妥当である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 施策への貢献度</li> <li>・ 目標達成度</li> <li>・ 市民サービスへの効果 など</li> </ul>		普通	街頭啓発や青少年育成強調月間に講演会を実施することにより、家庭教育の重要性を広く周知することができる。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
青少年の健全育成や人間形成の基本となる家庭教育の重要性について啓発し、絆の強い明るい家庭づくりを促進できるように、引き続き実施していく。					

会計名			ハツラツかりやっ子育成支援事業				担当部	教育部	
一般会計							担当課	生涯学習課	
款	項	目					担当係	青少年係	
10	6	5							
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	青少年育成						
		施策の内容	青少年を取り巻く環境の整備						
	目的	青少年に自然体験、地域活動、異世代交流など多様な機会を提供し、地域社会を基盤とした青少年健全育成の環境づくりを推進する。	主たる内容	複数の非営利団体が連携して実施する青少年健全育成に大きな効果が得られる先駆的な事業に対して、1事業100千円を限度として補助金を交付する。					
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令							
		対象者	市民（青少年）	事業期間	平成16年度～				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BD 事業実績 O 実施 V	27年度実績		28年度実績		29年度実績		30年度計画	
		・採択2事業 「第16回小垣江ふれあい村」（「親子でチャレンジ・竹細工と流しそうめん」（双葉小PTAおやじの会等）「第2回親父塾」（双葉小PTAおやじの会等）		・採択3事業 「親子でチャレンジ・竹細工と流しそうめん」（双葉小PTAおやじの会等）「第17回小垣江ふれあい村」（小垣江小PTA等）「居場所づくりを考える映画上映会」（Film Staytion等）		・採択5事業 「ダンボールロードレース」（刈谷青年会議所等）「親子で！友達誘って！避難所生活体験」（双葉小PTAクラブ おやじの会等）「第18回小垣江ふれあい村」（小垣江小PTA等）「上映会を通じた居場所」（Film Staytion等）「サンキュースクール」（東刈谷小親父の会等）		・応募7事業	
成果		補助金を交付することにより、地域社会を基盤とした多様な活動の機会を提供し、家庭や学校及び地域が一体となってハツラツとした子どもを育む環境づくりを支援することができた。							
課題		PR先の拡充を行ったが、応募件数が伸びない。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			27年度	28年度	29年度	30年度	32年度		
成果指標		補助対象採択事業数（事業）		2	3	5	7	7	
成果指標		参加者数（人）		600	746	785	1,050	1,050	
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（予算）	29年度事業費内訳	
	事業費 ①		198	297	499	700	合計 499,459 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	負担金、補助及び交付金 499,459 円		
		一般財源	198	297	499	700			
	職員人件費 ②		1,567	1,329	853	858			
	総事業費（①+②）		1,765	1,626	1,352	1,558			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		29年度特定財源名称			
29年度までの累積事業費		0							
31年度以降の事業費見込		0							

会計名			ハツラツかりやっ子育成支援事業	担当部	教育部
一般会計				担当課	生涯学習課
款	項	目		担当係	青少年係
10	6	5			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>法的業務</li> <li>市民ニーズ、社会需要</li> <li>市民生活上必要である など</li> </ul>		高い	青少年の健やかな育成のために地域団体が自ら企画・運営する事業に対し補助金を支出することは、有意義かつ継続的な活動を支援するために必要である。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>コストの節減、費用対効果</li> <li>執行体制の効率性</li> <li>手段の最適性 など</li> </ul>		普通	複数の地域団体が協働で青少年健全育成に関わり、地域の連携強化に繋がる。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市が主体となって実施すべき事業であるか</li> <li>総合計画との整合性 など</li> </ul>		普通	地域住民及び非営利団体が中心となる活動の活性化にもなり、市が積極的に支援をすることは妥当と思われる。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策への貢献度</li> <li>目標達成度</li> <li>市民サービスへの効果 など</li> </ul>		普通	青少年に多様な活動（自然体験、異世代交流等）の機会を提供し、家庭、学校、地域が一体となった青少年健全育成に寄与している。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
他の補助金等との整合性を検討しながら、家庭、学校、地域が一体となった青少年健全育成活動を支援する必要がある。					

会計名			放課後子ども教室推進事業				担当部	教育部	
一般会計							担当課	生涯学習課	
款	項	目					担当係	青少年係	
10	6	5							
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	青少年育成						
		施策の内容	青少年の自立支援と社会参加の促進						
	目的	学校、家庭、地域が連携して放課後の子どもの安全・安心な居場所を設け、子どもたちが地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進する。			主たる内容	地域の方々の参画を得て、遊びや学習、体験活動、地域住民との交流等の取組を行う放課後子ども教室を開設する。			
	位置づけ	子ども・子育て育成支援事業計画、刈谷市生涯学習推進計画							
	根拠法令	放課後子ども総合プラン推進事業実施要綱、刈谷市放課後子ども教室事業実施要綱							
	対象者	各小学校に在籍する児童			事業期間	平成20年度～			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業 実績 O 実施 V	27年度実績		28年度実績		29年度実績		30年度計画	
		【既設校】 亀城小、小高原小、日高小、衣浦小、富士松南小、富士松北小、富士松東小、小垣江小、双葉小、朝日小 【新設校】 住吉小、平成小、東刈谷小		【既設校】 亀城小、小高原小、日高小、衣浦小、住吉小、平成小、富士松南小、富士松北小、富士松東小、小垣江小、双葉小、東刈谷小、朝日小 【新設校】 かりがね小		【既設校】 亀城小、小高原小、日高小、衣浦小、住吉小、かりがね小、平成小、富士松南小、富士松北小、富士松東小、小垣江小、双葉小、東刈谷小、朝日小		【既設校】 亀城小、小高原小、日高小、衣浦小、住吉小、かりがね小、平成小、富士松南小、富士松北小、富士松東小、小垣江小、双葉小、東刈谷小、朝日小 【新設校】 小垣江東小	
成果		<ul style="list-style-type: none"> <li>体験活動や地域住民との交流を通して、子どもの社会性を育む機会を提供することができた。</li> <li>学年、学級を超えた集団遊び等を通して、子ども同士の関わり方を学ぶことができた。</li> <li>学校生活に慣れない子どもたちにも、学校に来る楽しみや元気を与えることができた。</li> </ul>							
課題		<ul style="list-style-type: none"> <li>教室のスペースに限りがあるため、登録者の受入れを工夫する必要がある。</li> <li>放課後子ども教室の開設に伴い、コーディネーター等多数の地域の人材が必要となる。</li> <li>開設校を増やしたことに伴う事務量増加に対し、実績報告や管理等方法の工夫が必要となる。</li> <li>一部体験教室の合同開催について児童クラブと相互理解を深め、連携の強化を図る必要がある。</li> </ul>							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			27年度	28年度	29年度	30年度	32年度		
活動指標		開設校数（校）		13	14	14	15	15	
成果指標		登録児童数（人）		1,204	1,183	1,157	1,260	1,350	
他市との比較検証		開設状況 知立市：7校中7校、週5日、安城市：21校中3校、週1日、碧南市：7校中1校、週3日、各市とも小学校の空き教室で開設。高浜市：5校中5校、週5日小学校のグラウンドで開設（雨天時は体育館）							
C 事業 コスト		単位：千円		27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（予算）	29年度事業費内訳	
	事業費①		20,251	21,796	21,703	29,771	合計	21,703,302円	
	財源	特定財源	11,393	12,643	12,584	15,898	賃金	3,223,686円	
		一般財源	8,858	9,153	9,119	13,873	報償費	17,664,320円	
	職員人件費②		4,701	4,845	4,730	4,758	需用費	422,501円	
	総事業費（①+②）		24,952	26,641	26,433	34,529	役務費	392,795円	
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		29年度特定財源名称			
29年度までの累積事業費		0		放課後子ども教室推進事業費補助金					
31年度以降の事業費見込		0							

会計名			放課後子ども教室推進事業	担当部	教育部
一般会計				担当課	生涯学習課
款	項	目		担当係	青少年係
10	6	5			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>法的業務</li> <li>市民ニーズ、社会需要</li> <li>市民生活上必要である など</li> </ul>	高い	児童が心豊かで健やかに育まれる環境整備推進のため、遊び、学び、体験、地域の方々と交流する場として、放課後の安全・安心な居場所づくりは必要である。	
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>コストの節減、費用対効果</li> <li>執行体制の効率性</li> <li>手段の最適性 など</li> </ul>	普通	既存の学校施設を利用すること、また、地域の方々をスタッフとして活用することにより、効率的な事業の推進を図ることができる。	
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市が主体となって実施すべき事業であるか</li> <li>総合計画との整合性 など</li> </ul>	普通	本事業を実施するにあたっては学校関係者との連携、協力は必要であり、行政が主体となって積極的に関与することが妥当である。	
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策への貢献度</li> <li>目標達成度</li> <li>市民サービスへの効果 など</li> </ul>	高い	本事業に参加することにより、児童は日常的に交流することが少ない異年齢の子どもたちや地域の方々と接する機会ができ、本施策の青少年育成に寄与している。	
	今後の方向性		<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止		
	30年度9月に小垣江東小において新設し、市内全小学校での開設が完了する。既設校についても、開設場所の確保やスタッフの養成を継続的に行い、円滑な運営維持に努める。放課後児童クラブとの総合プランにおいては、一体型の開催等の検討事項を勧奨し、事業の推進を図る。				

会計名			中高生の居場所づくり事業				担当部	教育部	
一般会計							担当課	生涯学習課	
款	項	目					担当係	青少年係	
10	6	5							
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	青少年育成						
		施策の内容	青少年の自立支援と社会参加の促進						
	目的	中高生が放課後等に気軽に集まることができる居場所を提供する。また、中高生自らイベントの企画運営に携わることができる機会を提供することにより、中高生の自立を支援する。			主たる内容	放課後に気軽に立ち寄り、学習や交流ができる中高生のための居場所を提供し、声かけや悩み等の相談対応、自主的な活動への支援を行う。大学生をピアカウンセラー（仲間として相談に応じる人）として養成し、スタッフとして配置する。 ○場所 総合文化センター内談話コーナー ○開催日 毎週火・木曜日 16時～21時			
	位置づけ	関連計画	刈谷市子ども・子育て支援事業計画						
			根拠法令	子ども・若者育成支援推進法					
		対象者	市内在住または在学の中高生	事業期間	平成22年度～				
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業 D 実績 O ハ 実 施 V	27年度実績		28年度実績		29年度実績		30年度計画	
		・利用者数 延べ851人 ・実施したイベント 「なごみ場（とことん勉強）」始め4事業 イベント参加者数 延べ29人		・利用者数 延べ568人 ・実施したイベント 「苦手な英語がちょっと好きになる講座」始め9事業 イベント参加者数 延べ51人		・利用者数 延べ763人 ・実施したイベント 「多目的ホール開放」始め5事業 イベント参加者数 延べ87人		・利用者数 延べ850人	
成果		学習活動や、大学生スタッフとの交流を深める中で、中高生が気軽に立寄ることができる居場所づくりができた。各種イベントの企画・実施、大学生スタッフにピアカウンセラー養成講座を行い、相談に対応できる知識の習得に努めた。							
課題		・本事業の活動として悩みの相談対応があるが、ピアカウンセラーとして活動する大学生スタッフの確保が必要である。 ・利用者が減少しており、利用者を増やす工夫が必要である。							
O ハ 実 施 V	指標名称（単位）			実績値			目標値		
				27年度	28年度	29年度	30年度	32年度	
	成果指標	延べ利用者数（人）		851	568	763	850	850	
成果指標	中高生が関わったイベントの回数（回）		3	3	9	13	13		
他市との比較検証	碧南市、高浜市が類似の事業を実施している。								
C 事業 コスト 建設 事業	単位：千円		27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（予算）	29年度事業費内訳		
	事業費 ①		1,990	1,920	1,969	2,044	合計	1,968,979 円	
	財源	特定財源	0	0	114	229	委託料	1,968,979 円	
		一般財源	1,990	1,920	1,855	1,815			
	職員人件費 ②		1,567	2,501	2,171	2,184			
	総事業費（①+②）		3,557	4,421	4,140	4,228			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		29年度特定財源名称			
29年度までの累積事業費		0		学校支援地域本部事業費補助金					
31年度以降の事業費見込		0							

会計名			中高生の居場所づくり事業	担当部	教育部
一般会計				担当課	生涯学習課
款	項	目		担当係	青少年係
10	6	5			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>法的業務</li> <li>市民ニーズ、社会需要</li> <li>市民生活上必要である など</li> </ul>		高い	地域でのコミュニケーションの欠如、若者の自立の遅れ等、社会環境が変化する中、中高生が気軽に立寄り社会参加できる場所が必要である。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>コストの節減、費用対効果</li> <li>執行体制の効率性</li> <li>手段の最適性 など</li> </ul>		普通	大学生をピアカウンセラーとして養成し、大学生自身の意識、能力向上に繋げ、またその大学生をスタッフとして配置することで事業の効果が期待できる。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市が主体となって実施すべき事業であるか</li> <li>総合計画との整合性 など</li> </ul>		普通	中高生が放課後等に気軽に立ち寄るなかで交流を深め、悩み事を安心して相談できる環境づくりが必要であるため、公共施設内に開設し市が関与する事が妥当である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策への貢献度</li> <li>目標達成度</li> <li>市民サービスへの効果 など</li> </ul>		普通	安心して過ごせる居場所を設け、同世代の仲間との交流、悩みの相談等を行うことで、中高生の自立を支援することができる。
	今後の方向性		<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止		
	引き続き、中高生が放課後に気軽に立寄りることのできる居場所を提供するとともに、ボランティア活動や地域活動など中高生の社会参加を支援する。また、ピアカウンセラーの養成を推進し、大学生スタッフの確保に努める。 また、年々、利用者が減少している状況については、学習支援を併設し、利用目的を増やすことにより、利用の活性化を図りたい。				



会計名 一般会計			市民講座開設等事業				担当部	教育部	
款	項	目					担当課	生涯学習課	
10	6	13					担当係	推進係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	生涯学習						
		施策の内容	学習機会の充実						
	目的	中央生涯学習センターにおいて、大学連携講座を始めとする各種市民向け講座及びイベントを行い、市民の学習意欲の向上や学習活動への参加促進を図る。				主たる内容	市民講座及び大学連携講座を開催する。講座や作品展示など、親子や一般を対象とした無料の生涯学習イベント「刈谷まなびの広場」を年に1回開催する。		
	位置づけ	関連計画	刈谷市生涯学習推進計画						
		根拠法令							
		対象者	市内在住または在勤の人			事業期間	～		
		実施方法	□直営 ■委託 ■指定管理 □補助・助成 ■その他						
	B 事業 D 実績 O 実績 V	27年度実績		28年度実績		29年度実績		30年度計画	
		・市民講座 33講座583人受講 ・大学連携講座 愛知教育大学 4講座 72人受講 名城大学 2講座 58人受講 ・刈谷まなびの広場 8講座1講演295人受講		・市民講座 32講座574人受講 ・大学連携講座 愛知教育大学 4講座 73人受講 名城大学 2講座 61人受講 至学館大学 1講座 33人受講 ・刈谷まなびの広場 16講座311人受講		・市民講座 32講座633人受講 ・大学連携講座 愛知教育大学 4講座 112人受講 名城大学 2講座 89人受講 至学館大学 1講座 31人受講 愛知工業大学 1講座 12人受講 ・刈谷まなびの広場 9講座201人受講		・市民講座 32講座 ・大学連携講座 4講座 愛知教育大学 2講座 名城大学 1講座 至学館大学 1講座 愛知工業大学 1講座 ・刈谷まなびの広場10講座	
成果		大学連携講座においては、大学教授等による専門的な講座を実施することにより、市民の学習意欲の向上及び学習活動の活性化を図ることができた。 また、生涯学習イベント「刈谷まなびの広場」については、子どもから大人までの幅広い世代を対象に行い、学習活動へ取り組むきっかけを提供することができた。							
課題		大学連携講座においては、実施する講座が単発講座になると目標値の達成が困難となる。講座の実施については大学の協力を得る必要があるため、大学との連絡調整を通じて引き続き一定の講座数を確保する必要がある。							
指標名称（単位）		実績値			目標値				
		27年度	28年度	29年度	30年度	32年度			
成果指標		市民講座の年間受講者数（人）	583	574	633	640	640		
成果指標		大学連携講座の年間受講者数（人）	130	167	244	300	350		
他市との比較検証									
C 事業 コスト V		単位：千円		27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（予算）	29年度事業費内訳	
	事業費 ①		12,073	11,762	12,014	13,333	合計	12,013,760 円	
	財源	特定財源	25	36	40	360	役務費	22,810 円	
		一般財源	12,048	11,726	11,974	12,973	委託料	11,837,000 円	
	職員人件費 ②		5,249	6,018	4,808	3,666	使用料及び賃借料	114,050 円	
	総事業費（①+②）		17,322	17,780	16,822	16,999	負担金、補助及び交付金	39,900 円	
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		29年度特定財源名称			
		29年度までの累積事業費		0		講座受講料			
31年度以降の事業費見込		0							

会計名			市民講座開設等事業	担当部	教育部
一般会計				担当課	生涯学習課
款	項	目		担当係	推進係
10	6	13			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 法的業務</li> <li>・ 市民ニーズ、社会需要</li> <li>・ 市民生活上必要である など</li> </ul>		高い	市民の生涯学習活動に対し、学習機会の提供及び活動の支援をしており必要性の高い事業である。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ コストの節減、費用対効果</li> <li>・ 執行体制の効率性</li> <li>・ 手段の最適性 など</li> </ul>		普通	各種講座、生涯学習イベントの開催により市民への多様な学習プログラムの提供、学習意欲の一層の向上や参加促進を効率的に行っている。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市が主体となって実施すべき事業であるか</li> <li>・ 総合計画との整合性 など</li> </ul>		高い	時代の変化に対応したプログラムの提供、生涯学習イベントの開催など市民の生涯学習活動を支援するために、市の関与は必要である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 施策への貢献度</li> <li>・ 目標達成度</li> <li>・ 市民サービスへの効果 など</li> </ul>		普通	各種講座及び生涯学習イベントを実施することで、市民の学習意欲の向上及び学習活動への参加の促進に寄与している。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
引き続き中央生涯学習センターにおいて大学連携講座をはじめとする各種講座及び生涯学習イベントを行うことで、市民の学習意欲の向上を図るとともに学習活動への参加を促進していく。					

会計名			（仮称）野田市民館整備事業				担当部	教育部	
一般会計							担当課	生涯学習課	
款	項	目					担当係	施設係	
10	6	1							
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	生涯学習						
		施策の内容	学習機会の充実						
	目的	地域住民が気軽に利用でき、地域で管理運営する地域本位の活動施設である市民館を整備し、市民館を拠点として地区活動や公民館活動を始めとするコミュニティ活動の活性化を推進する。	主たる内容	○市民館の用地取得 ○市民館の建設 構造：鉄筋コンクリート造2階建て					
	位置づけ	関連計画	第3次刈谷市生涯学習推進計画						
		根拠法令	刈谷市コミュニティ施設条例、刈谷市市民館施設整備要綱						
		対象者	市民（野田地区）	事業期間	平成29年度～平成31年度				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 計画	27年度実績		28年度実績		29年度実績		30年度計画	
						・実施設計 ・物件移転補償の積算 ・事業説明会の開催		・用地取得 約1,100㎡ ・物件移転補償	
成果		事業認定手続きの一環として野田地区にて説明会を開催し、地域住民に周知することができ、市民館建設が望まれていることが確認できた。野田市民館建設準備委員会と密に連絡を取り、実施設計等を行い、市民館建設へ向け、着実に事業を進めることができた。							
課題		予定通り平成31年度に建設を完了させるため、法的な手続きや土地所有者交渉を円滑に進め、着実に用地を取得する。							
指標名称（単位）				実績値		目標値			
				27年度	28年度	29年度	30年度	32年度	
活動指標		建設用地の累計取得面積（㎡）			0	0	0	1,100	1,100
成果指標		各種施設が整い、学習活動などに取り組みやすいと思う市民の割合（％）			-	77.8	-	78.0	80.0
他市との比較検証		類似事例なし							
C 事業コスト		単位：千円		27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（予算）	29年度事業費内訳	
	事業費①		0	0	15,790	188,054	合計	15,789,950円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	旅費	6,800円	
		一般財源	0	0	15,790	188,054	役務費	282,200円	
	職員人件費②		0	0	2,753	2,379	委託料	15,498,000円	
	総事業費（①+②）		0	0	18,543	190,433	使用料及び賃借料	2,950円	
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		418,744		29年度特定財源名称			
		29年度までの累積事業費		15,790					
31年度以降の事業費見込		214,900							

会計名			(仮称) 野田市民館整備事業	担当部	教育部
一般会計				担当課	生涯学習課
款	項	目		担当係	施設係
10	6	1			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>法的業務</li> <li>市民ニーズ、社会需要</li> <li>市民生活上必要である など</li> </ul>		高い	刈谷市市民館建設整備協議会答申に基づき、一地区に一市民館を整備してきた経緯、平成27年野田地区分割を契機に提出された野田地区からの市民館建設の要望書等により、野田地区のコミュニティ活動の拠点施設に関する市民ニーズは高いと判断できる。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>コストの節減、費用対効果</li> <li>執行体制の効率性</li> <li>手段の最適性 など</li> </ul>		普通	刈谷市市民館施設整備要綱に基づき、地区世帯数からその規模を設定し、適正な規模での整備を推進している。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市が主体となって実施すべき事業であるか</li> <li>総合計画との整合性 など</li> </ul>		普通	市民館は、日常生活圏における生涯学習を効果的に推進するため、市が設置して地区が管理運営する地区本位のコミュニティ活動拠点であり、これまでの効果的な施策の推進及び良好な管理運営実績から市主体で整備すべき事業である。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策への貢献度</li> <li>目標達成度</li> <li>市民サービスへの効果 など</li> </ul>		高い	野田地区に市民館を整備することで、講座や教室など地域のコミュニティ活動を実施する場が創出され、学習機会の充実、生涯学習の推進、住みやすさなどの市民満足度の向上への寄与が期待できる。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
平成31年度に建設し、事業完了予定。 建設後は、野田地区のコミュニティ活動の拠点として、地区住民の利用に供するとともに野田地区が管理運営する野田地区本位の活動施設として管理運営を行っていく。					

会計名			北部生涯学習センター施設改修事業				担当部	教育部	
一般会計							担当課	生涯学習課	
款	項	目					担当係	施設係	
10	6	12							
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	生涯学習						
		施策の内容	生涯学習施設の利用促進						
	目的	施設又は設備の老朽化に伴う改修等を行うことで、安全で快適な施設状況を維持する。		主たる内容	○施設又は設備の改修工事 ○施設又は設備の修繕				
	位置づけ	関連計画	第3次刈谷市生涯学習推進計画						
		根拠法令	刈谷市生涯学習センター条例、刈谷市生涯学習センター条例施行規則						
		対象者	対象者を限定せず		事業期間	～			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 実施	27年度実績		28年度実績		29年度実績		30年度計画	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>メインホール舞台機構修繕（天井反射板手動巻取装置等）</li> <li>浄化槽ばっ気送風機等修繕</li> <li>エレベーター改修工事</li> </ul> ※北部生涯学習センター施設補修事業で実施		<ul style="list-style-type: none"> <li>メインホール舞台機構改修（制御盤、操作盤）</li> <li>メインホール照明器具取替（スポットライト）</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>多目的ホールスクリーン取替</li> <li>体育室前トイレ換気扇取替</li> <li>研修室棟2階排煙窓防水工事</li> <li>メインホール照明器具取替（ホリゾントライト）</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>メインホール舞台機構修繕（ワイヤーロープ）</li> <li>浄化槽設備修繕</li> <li>メインホール舞台音響設備制御機器改修</li> <li>防火シャッター危害防止装置取付</li> </ul>	
成果		老朽化した施設や設備を改修し、大きな問題もなく、通常どおり施設を運営することができた。							
課題		県が平成2年に開館した施設（愛知県勤労福祉会館）の譲渡を受け、市が生涯学習センターとして転用利用している施設であるため、施設・設備が経年劣化により不具合が生じている。適切な時期に予防保全を実施し、長寿命化を図る必要がある。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			27年度	28年度	29年度	30年度	32年度		
成果指標		北部生涯学習センター稼働率（％）		28.7	30.7	33.0	34.0	35.0	
指標									
他市との比較検証		知立市文化会館 花しょうぶホール 293席 安城市アンフォーレ ホール 255席 碧南市芸術文化ホール エメラルドホール 452席							
C 事業コスト		単位：千円		27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（予算）	29年度事業費内訳	
	事業費 ①		24,440	17,280	10,020	24,800	合計	10,020,240 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	861,840 円	
		一般財源	24,440	17,280	10,020	24,800	工事請負費	9,158,400 円	
	職員人件費 ②		1,293	1,368	2,443	2,379			
	総事業費（①+②）		25,733	18,648	12,463	27,179			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		29年度特定財源名称			
29年度までの累積事業費		0							
31年度以降の事業費見込		0							

会計名			北部生涯学習センター施設改修事業	担当部	教育部
一般会計				担当課	生涯学習課
款	項	目		担当係	施設係
10	6	12			
C H E D C K ハ 評 価	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>法的業務</li> <li>市民ニーズ、社会需要</li> <li>市民生活上必要である など</li> </ul>		高い	第3次刈谷市生涯学習推進計画に「交流圏の拠点施設」と位置付けられている施設であり、老朽化に伴う改修等を行うことは、施設を安全で快適に利用していただく上での必要性は高い。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>コストの節減、費用対効果</li> <li>執行体制の効率性</li> <li>手段の最適性 など</li> </ul>		普通	公共施設維持保全計画に基づき、施設又は設備の改修を計画的に実施し、予防保全の考えから施設の長寿命化を図ることで、コストの節減に効果を発揮している。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市が主体となって実施すべき事業であるか</li> <li>総合計画との整合性 など</li> </ul>		高い	生涯学習施設の維持管理に必要な改修等は、施設所有者である市が負担するものであり、安全で快適な利用が可能な状態を維持することで、施設の利用促進及び生涯学習の推進に寄与する。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策への貢献度</li> <li>目標達成度</li> <li>市民サービスへの効果 など</li> </ul>		普通	老朽化又は破損した施設又は設備の改修等を行うことで、施設を安全で快適な利用が可能な状態を維持し、施設の稼働率及び利用者満足度の維持又は向上に寄与するなど市民サービスへの効果が期待できる。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
公共施設維持保全計画に基づき、今後も計画的に施設又は設備の改修等を実施していく。 また、日頃から指定管理者との連携を密にして施設の状態の把握に努めるとともに、施設の運営に支障をきたす破損等が発生した場合は緊急的に対応するなど最善の対応が行えるように努め、施設の稼働率及び利用者満足度の維持又は向上に努める。					

会計名			南部生涯学習センター施設改修事業				担当部	教育部		
一般会計							担当課	生涯学習課		
款	項	目					担当係	施設係		
10	6	12								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	生涯学習							
		施策の内容	生涯学習施設の利用促進							
	目的	施設又は設備の老朽化に伴う改修等を行うことで、安全で快適な施設を維持する。			主たる内容	○施設又は設備の改修工事 ○施設又は設備の修繕				
	位置づけ	関連計画	刈谷市生涯学習推進計画							
			根拠法令	刈谷市生涯学習センター条例、刈谷市生涯学習センター条例施行規則						
		対象者	対象者を限定せず		事業期間	～				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	D 実績 O ハ 実 施 V	27年度実績		28年度実績		29年度実績		30年度計画		
						・加藤与五郎展示室・収蔵庫 展示用資料製作等委託 ・加藤与五郎展示室改装工事 ・加藤与五郎展示室調光型照 明器具等取替工事 ・デッキテラス修繕 ・地下機械室煤煙濃度計取替 修繕 ・多目的ホール壁有孔ボード 張替修繕		・空調機取替 ・立体駐車場移動式粉末消火 設備取替 ・照明制御盤更新 ・冷却水冷温水ポンプ軸受 取替 ・冷却塔修繕 ・自家発電設備蓄電池取替 ・防犯カメラシステム修繕 ・エントランスホール修繕		
成果		老朽化した施設や設備を改修し、大きな問題もなく、通常どおり施設を運営することができた。								
課題		施設の老朽化に伴い、計画的かつ適切に改修を行っていく必要がある。								
指標		指標名称（単位）		実績値			目標値			
			27年度	28年度	29年度	30年度	32年度			
成果指標	南部生涯学習センター稼働率（％）		40.3	41.5	42.9	43.0	44.0			
成果指標	加藤与五郎展示室利用者数（人）		922	1,037	812	1,000	1,000			
	他市との比較検証									
C 事業 コスト	単位：千円	27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（予算）	29年度事業費内訳				
	事業費 ①	0	0	9,259	0	合計	9,259,360 円			
	財源	特定財源	0	0	0	0	旅費	96,640 円		
		一般財源	0	0	9,259	0	需用費	3,203,280 円		
	職員人件費 ②	0	0	2,210	2,379	委託料	3,360,960 円			
	総事業費（①+②）	0	0	11,469	2,379	工事請負費	1,999,080 円			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0	29年度特定財源名称					
29年度までの累積事業費			0							
31年度以降の事業費見込			0							
						備品購入費	599,400 円			

会計名			南部生涯学習センター施設改修事業	担当部	教育部
一般会計				担当課	生涯学習課
款	項	目		担当係	施設係
10	6	12			
C H E D C K ハ 評 価 V	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>法的業務</li> <li>市民ニーズ、社会需要</li> <li>市民生活上必要である など</li> </ul>		高い	第3次刈谷市生涯学習推進計画に「交流圏の拠点施設」と位置付けられている施設であり、老朽化に伴う改修等を行うことは、施設を安全で快適に利用していただく上での必要性は高い。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>コストの節減、費用対効果</li> <li>執行体制の効率性</li> <li>手段の最適性 など</li> </ul>		普通	公共施設維持保全計画に基づき、施設又は設備の改修を計画的に実施し、予防保全の考えから施設の長寿命化を図ることで、コストの節減に効果を発揮している。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市が主体となって実施すべき事業であるか</li> <li>総合計画との整合性 など</li> </ul>		高い	生涯学習施設の維持管理に必要な改修等は、施設所有者である市が負担するものであり、安全で快適な利用が可能な状態を維持することで、施設の利用促進及び生涯学習の推進に寄与する。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策への貢献度</li> <li>目標達成度</li> <li>市民サービスへの効果 など</li> </ul>		普通	老朽化又は破損した施設又は設備の改修等を行うことで、施設を安全で快適な利用が可能な状態を維持し、施設の稼働率及び利用者満足度の維持又は向上に寄与するなど市民サービスへの効果が期待できる。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
公共施設維持保全計画に基づき、今後も計画的に施設又は設備の改修等を実施していく。 また、日頃から指定管理者との連携を密にして施設の状態の把握に努めるとともに、施設の運営に支障をきたす破損等が発生した場合は緊急的に対応するなど最善の対応が行えるように努め、施設の稼働率及び利用者満足度の維持又は向上に努める。					



会計名 一般会計			文化振興事業				担当部	教育部		
款	項	目					担当課	生涯学習課		
10	6	13					担当係	推進係		
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	文化・芸術							
		施策の内容	鑑賞・体験の機会づくり							
	目的	市民に舞台芸術とふれあう機会を提供し、文化芸術意識の向上を図る。			主たる内容	文化芸術創造の拠点である総合文化センターで、指定管理者が実施する各種の文化普及鑑賞事業を支援する。 また、発表の場としての機能を提供することで、市民の芸術文化活動を支援する。				
	関連計画	刈谷市文化振興基本計画								
	位置づけ	根拠法令	劇場、音楽堂等の活性化に関する法律							
	対象者	対象者を限定せず			事業期間	平成23年度～				
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	BDO 事業実績 実施	27年度実績		28年度実績		29年度実績		30年度計画		
		28事業(有料19事業・無料9事業)を実施、入場者延49,825人 ・大ホール利用 648回 231,616人 ・小ホール利用 538回 53,506人 ・リハーサル室1利用 400回 15,250人 ・リハーサル室2利用 477回 10,810人		24事業(有料18事業・無料6事業)を実施、入場者延28,489人 ・大ホール利用 638回 214,252人 ・小ホール利用 497回 47,525人 ・リハーサル室1利用 357回 12,754人 ・リハーサル室2利用 516回 11,328人		29事業(有料23事業・無料6事業)を実施、入場者延35,329人 ・大ホール利用 687回 245,421人 ・小ホール利用 526回 47,944人 ・リハーサル室1利用 393回 13,528人 ・リハーサル室2利用 519回 12,581人		30事業(有料24事業・無料6事業)を実施		
成果		<ul style="list-style-type: none"> <li>・大ホールでの自主事業として、「佐渡裕指揮 東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団 特別演奏会2017」(4月17日)、「さだまさし」(3月2日)などを実施し、多くの市民に鑑賞してもらうことを通じて舞台芸術の普及、振興に寄与できた。</li> <li>・アウトリーチ事業を10箇所で開催し、市民が気軽に芸術鑑賞できる機会を提供できた。</li> </ul>								
課題		<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体として満足できる入場者数だったが、引き続き事業数の確保だけでなく、事業を選別する段階から留意する必要がある。</li> <li>・より市民のニーズを捉え、実施内容について検討する必要がある。</li> </ul>								
指標名称(単位)		実績値			目標値					
		27年度	28年度	29年度	30年度	32年度				
成果指標		文化振興事業入場者数(人)	49,825	28,489	35,329	36,000	40,000			
成果指標		大ホール稼働率(%)	82.5	81.7	89.7	90.0	92.0			
他市との比較検証		同規模の文化施設等の管理・運営・企画を民間の指定管理者に任せている自治体、施設名、事業数 一宮市：一宮市民会館 14事業 広島県三原市：三原市芸術文化センター 19事業								
C 事業コスト		単位：千円	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(予算)	29年度事業費内訳			
	事業費①	31,208	29,610	30,429	31,795	合計	30,429,000円			
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料	30,429,000円		
		一般財源	31,208	29,610	30,429	31,795				
	職員人件費②	7,834	6,018	4,808	4,446					
	総事業費(①+②)	39,042	35,628	35,237	36,241					
	建設事業	全体事業費(単位：千円)	0		29年度特定財源名称					
29年度までの累積事業費		0								
31年度以降の事業費見込		0								

会計名			文化振興事業	担当部	教育部
一般会計				担当課	生涯学習課
款	項	目		担当係	推進係
10	6	13			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> <li>法的業務</li> <li>市民ニーズ、社会需要</li> <li>市民生活上必要である など</li> </ul>		普通	身近な場所で各種の文化普及・鑑賞事業を開催することで、市民の舞台芸術作品の鑑賞機会に対するニーズを実現している。
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> <li>コストの節減、費用対効果</li> <li>執行体制の効率性</li> <li>手段の最適性 など</li> </ul>		高い	指定管理者による運営を行うことで、地方自治体の文化施設では招聘することが難しい事業を開催することに成功している。 大規模公演は、共同主催の形で実施し、リスクを抑えながら質の高い舞台公演を開催している。
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> <li>市が主体となって実施すべき事業であるか</li> <li>総合計画との整合性 など</li> </ul>		普通	文化芸術創造の拠点となることで、「誇りと愛着もてるまちづくり」施策を実現している。 普及活動としての市民スタッフ育成事業や市民の発表支援を通じて、「市民が活動しやすい施設・環境づくり」施策を実施している。
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> <li>施策への貢献度</li> <li>目標達成度</li> <li>市民サービスへの効果 など</li> </ul>		高い	著名なアーティストや、芸術性の高い公演を実施することにより、身近に質の高い舞台芸術を鑑賞する機会を提供することで市民サービスの向上を図っている。 また、センターの知名度向上により、刈谷市の認知度アップに貢献している。
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
・ホール及びシティセールスとしての著名な公演の誘致と、市民や地域の文化芸術の振興に寄与する公演をさらにバランスよく編成する必要がある。					

会計名			青少年健全育成事業				担当部	教育部	
一般会計							担当課	生涯学習課	
款	項	目					担当係	青少年係	
10	6	5							
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	青少年育成						
		施策の内容	青少年を取り巻く環境の整備						
	目的	市内小・中・高等学校等で組織する児童生徒愛護会の活動を中心に、児童生徒の生活指導、安全確保などの取組みを行い、青少年の健全育成を図る。	主たる内容	○児童生徒愛護会の開催 ○夏季・冬季休業中、テスト期間中、夜間等街頭補導の実施 ○中学校区生活指導懇談会の開催 ○善行美徳表彰の実施 ○学区内危険箇所調査の実施 ○家庭の日・青少年作文コンクール、家族への手紙コンクールの実施 ○のぞましい家庭教育のしおりの発行					
	関連計画								
	根拠法令								
	対象者	市民		事業期間	～				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業実績 D 実績 O 実施 V	27年度実績		28年度実績		29年度実績		30年度計画	
		・児童生徒愛護会 定例会3回 ・中学校区生活指導懇談会 3箇所実施 ・善行美徳表彰21件93人 ・危険箇所調査120箇所 ・家庭の日作文コンクール63人表彰 ・青少年作文コンクール応募875通 ・家族への手紙コンクール 応募1231通 ・合同街頭補導実施延べ400日		・児童生徒愛護会 定例会3回 ・中学校区生活指導懇談会 3箇所実施 ・善行美徳表彰21件24人 ・危険箇所調査99箇所 ・家庭の日作文コンクール63人表彰 ・青少年作文コンクール応募564通 ・家族への手紙コンクール 応募881通 ・合同街頭補導実施延べ400日		・児童生徒愛護会 定例会3回 ・中学校区生活指導懇談会 3箇所実施 ・善行美徳表彰21件25人 ・危険箇所調査85箇所 ・家庭の日作文コンクール63人表彰 ・青少年作文コンクール応募399通 ・家族への手紙コンクール 応募642通 ・合同街頭補導実施延べ400日		・児童生徒愛護会 定例会3回 ・中学校区生活指導懇談会 3箇所実施 ・善行美徳表彰 ・危険箇所調査 ・家庭の日作文コンクール ・青少年作文コンクール ・家族への手紙コンクール ・合同街頭補導実施延べ400日	
成果		青少年を取り巻く環境が大きく変化する中、学校、家庭、地域が青少年育成について情報交換を行い、共通の認識を得ることができた。また、学区内危険箇所調査を通学路改善要望と合同で実施し調査の効率化を図った。							
課題		平成26年4月からスマホの使い方に関する3つの提言を家庭に呼びかける取り組みを行ってきたが、今後、児童生徒愛護会としての継続的な取り組みになるよう模索する必要がある。 小中学校の児童生徒に関する取り組みを図ることはできているが、高校生の年代への取り組みが希薄である。							
O 実施 V	指標名称（単位）			実績値			目標値		
				27年度	28年度	29年度	30年度	32年度	
	活動指標	合同街頭補導（延べ日数）		400	400	400	400	400	
成果指標	善行美徳表彰（件）		21	21	21	21	21		
他市との比較検証									
C 事業コスト	単位：千円		27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（予算）	29年度事業費内訳		
	事業費 ①		2,288	2,239	2,270	2,577	合計	2,270,419 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	報償費	452,424 円	
		一般財源	2,288	2,239	2,270	2,577	旅費	15,020 円	
	職員人件費 ②		2,350	3,126	2,792	2,808	需用費	847,615 円	
	総事業費（①+②）		4,638	5,365	5,062	5,385	委託料	869,300 円	
建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		29年度特定財源名称				
	29年度までの累積事業費		0						
	31年度以降の事業費見込		0						

会計名 一般会計			キッズクラブ事業				担当部	教育部		
款	項	目					担当課	生涯学習課		
10	6	5					担当係	青少年係		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	青少年育成							
		施策の内容	青少年の自立支援と社会参加の促進							
	目的	週末に子どもの安全・安心な活動拠点を設け、遊び、文化活動等の体験活動を通じ、子どもが心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進する。	主たる内容	小・中学生を対象に市内3箇所の生涯学習センターでキッズクラブを開設し、子どもたちが安心して集うことができる居場所を提供する。 ○開催場所 ・たんぼぼ 南部生涯学習センター ・アイリス 刈谷市総合文化センター ・かきつばた 北部生涯学習センター ○開催日 6月から3月 月3回土曜日の午前または午後						
	関連計画									
	根拠法令	放課後子ども総合プラン推進事業実施要綱、刈谷市キッズクラブ事業実施要綱								
	対象者	市内在住の小・中学生		事業期間	平成17年度～					
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	B 事業 D 実績 O ハ 実 施 V	27年度実績		28年度実績		29年度実績		30年度計画		
		【参加者延べ人数】 ・たんぼぼ 456人 ・アイリス 242人 ・かきつばた 272人 合計 970人		【参加者延べ人数】 ・たんぼぼ 586人 ・アイリス 302人 ・かきつばた 217人 合計 1,105人		【参加者延べ人数】 ・たんぼぼ 372人 ・アイリス 371人 ・かきつばた 188人 合計 931人		【参加予定人数】 ・たんぼぼ 450人 ・アイリス 250人 ・かきつばた 300人 合計 1,000人		
成果		創作活動、自然体験など、様々な活動を通して地域住民や異世代交流を図るとともに、週末の安全・安心な居場所を提供する事ができた。								
課題		ほとんどのプログラムは、申込不要であるため、参加児童に対するスタッフの過不足が生じる。また、各会場により事業の認知度に基づく参加者数の差が生じている。								
指標名称（単位）			実績値			目標値				
			27年度	28年度	29年度	30年度	32年度			
活動指標	開催数（回）		80	80	80	80	80			
成果指標	参加者数（人）		970	1,105	931	1,000	1,000			
他市との比較検証	高浜市は1校のみPTA土曜クラブに委託し、家庭科、書道、剣道、ちぎり絵、フルートの5クラブ制で開催している。									
C 事業 コスト 建設 事業	単位：千円		27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（予算）	29年度事業費内訳			
	事業費 ①		2,765	2,779	2,807	2,900	合計		2,807,447 円	
	財源	特定財源	1,373	1,147	1,124	1,315	委託料			2,807,447 円
		一般財源	1,392	1,632	1,683	1,585				
	職員人件費 ②		1,959	1,719	1,628	1,638				
	総事業費（①+②）		4,724	4,498	4,435	4,538				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		29年度特定財源名称				
29年度までの累積事業費		0		放課後子ども教室推進事業費補助金						
31年度以降の事業費見込		0								

会計名 一般会計			青年講座開催事業				担当部	教育部		
款	項	目					担当課	生涯学習課		
10	6	5					担当係	青少年係		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	青少年育成							
		施策の内容	青少年の自立支援と社会参加の促進							
	目的	青少年に多様な学習・体験活動の機会を提供し、生涯学習の推進、ボランティア活動への参加促進を図る。			主たる内容	市内在住・在勤または在学の18歳～39歳の青少年を対象に、文化・芸術・福祉・スポーツなどの各種講座を開催する。 8回連続講座 年4回開催				
	位置づけ	関連計画								
		根拠法令								
		対象者	市内在住・在勤・在学の18～39歳		事業期間	平成7年度～				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業実績 D 実績 O 計画 V	27年度実績		28年度実績		29年度実績		30年度計画		
		・青年講座4回32講座 第1回 体験・体感講座8講座 第2回 生涯学習リーダー企画講座8講座 第3回 陶芸8講座 第4回 パンで旅行気分8講座 受講者延べ人数538人		・青年講座4回32講座 第1回 Clean up the body and soul 8講座 第2回 大人から始めるダンス講座 8講座 第3回 生涯学習リーダー企画 8講座 第4回 歌って笑顔になろう 8講座 受講生延べ327人		・青年講座4回32講座 第1回 体に優しい野菜とお米のスイーツづくり 8講座 第2回 筆ペンで書いて伝える想いや気持ち 8講座 第3回 初心者のためのHip-Hop 8講座 第4回 憲俊流剣術殺陣の会 8講座 受講生延べ205人		・青年講座4回32講座		
成果		・青少年に多様な学習、体験活動の機会を提供することができた。 ・講座終了後に受講生が交流会を持つ等、仲間づくりの場を提供することができた。								
課題		・ボランティア活動推進につながる講座を行う必要がある。								
		指標名称（単位）				実績値		目標値		
					27年度	28年度	29年度	30年度	32年度	
活動指標	募集案内配布事業所数（ヶ所）				42	42	42	42	45	
成果指標	受講者数（人）				88	61	36	90	90	
	他市との比較検証									
C 事業コスト V	単位：千円		27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（予算）	29年度事業費内訳			
	事業費 ①		528	556	547	739	合計		547,045 円	
	財源	特定財源	67	15	20	144	報償費		376,000 円	
		一般財源	461	541	527	595	需用費		645 円	
	職員人件費 ②		3,917	3,673	3,412	3,432	役務費		8,000 円	
	総事業費（①+②）		4,445	4,229	3,959	4,171	使用料及び賃借料		162,400 円	
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		29年度特定財源名称				
29年度までの累積事業費		0		青年講座受講料						
31年度以降の事業費見込		0								

会計名			成人式開催事業				担当部	教育部	
一般会計							担当課	生涯学習課	
款	項	目					担当係	青少年係	
10	6	5							
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	青少年育成						
		施策の内容	青少年の自立支援と社会参加の促進						
	目的	刈谷市成人式実行委員会との共催で成人式を開催し、次代を担う新成人の門出を祝福するとともに、大人になったことを自覚し、自ら生き抜こうとする意欲の向上を図る。			主たる内容	新成人の中から実行委員会を組織し、式の企画、運営を行い、心に残る成人式を開催する。			
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令							
		対象者	新成人（平8.4.2～平9.4.1生）		事業期間	～			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 計画 実施 V	27年度実績		28年度実績		29年度実績		30年度計画	
		開催日	平成28年1月10日	開催日	平成29年1月8日	開催日	平成30年1月7日	開催日	平成31年1月13日
会場		刈谷市総合文化センター	会場	刈谷市総合文化センター	会場	刈谷市総合文化センター	会場	刈谷市総合文化センター	
対象者数		1,742名	対象者数	1,843名	対象者数	1,669名	対象者数	約2,000名	
参加者数		1,279名	参加者数	1,345名	参加者数	1,190名			
成果		成人式を行うことにより、新成人が恩師や旧友らと話し合う機会となり、大人として今後どのように生きていくかを語るきっかけとなった。 実行委員会により自主的な式の企画・運営を行うことにより、社会参加の機会を提供することができた。							
課題		・参加者により成人式当日の飲酒等、警備について再検討を要する。 ・雨天時の送迎場確保について再検討を要する。 ・実行委員の募集について学校の推薦に頼るところが多く、学校側の負担感が増しているため、公募による確保に移行できるよう実行委員会の魅力発信に検討を要する。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			27年度	28年度	29年度	30年度	32年度		
成果指標		実行委員OB・OGグループ（THE成人）の人数（人）		44	75	82	80	80	
成果指標	成人式参加率（％）		73.4	73.0	71.3	73	73		
他市との比較検証	知立市、安城市、碧南市、高浜市、東浦町は成人式実行委員会を組織し、実施している。								
C 事業コスト V	単位：千円		27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（予算）	29年度事業費内訳		
	事業費①		3,697	4,007	3,797	4,556	合計	3,797,296 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料	3,201,406 円	
		一般財源	3,697	4,007	3,797	4,556	使用料及び賃借料	595,890 円	
	職員人件費②		3,917	3,908	4,808	4,836			
	総事業費（①+②）		7,614	7,915	8,605	9,392			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		29年度特定財源名称			
		29年度までの累積事業費		0					
31年度以降の事業費見込		0							

会計名			市民講座開設事業				担当部	教育部		
一般会計							担当課	生涯学習課		
款	項	目					担当係	推進係		
10	6	12								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	生涯学習							
		施策の内容	学習機会の充実							
	目的	南部生涯学習センターにおいて、多様化する市民の学習要求に応え、誰もが気軽に学べる機会と場所を提供し、生涯学習の推進と支援を図る。			主たる内容	市民講座及びものづくり体験教室を開催し、小学生から大人まで広く市民が気軽に学習活動に参加できる場を設ける。				
	位置づけ	関連計画	刈谷市生涯学習推進計画							
		根拠法令	生涯学習の振興のための施策の推進体制等の整備に関する法律							
		対象者	市内在住および在勤の人			事業期間	平成13年度～平成29年度			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業 D 実績 O 実施 V	27年度実績		28年度実績		29年度実績		30年度計画		
		・市民講座 15講座 受講者数 201人 ・ものづくり体験教室 6回 受講者数 47人		・市民講座 15講座 受講者数 204人 ・ものづくり体験教室 6回 受講者数 94人		・市民講座 16講座 受講者数 243人 ・ものづくり体験教室 6回 受講者数 102人		市民講座及び夏休み期間中のものづくり講座を、委託により実施する。 ※市民講座開設等事業に移行		
成果		受講者の知識・教養の向上・技能の習得に資すると共に、学習者相互の交流の場を提供することにより、生涯学習活動の推進に貢献することができた。								
課題		講座受講者率の向上を図るとともに講座受講後の施設利用の促進を図るため、自主サークルへの参加や新たな自主サークルの結成を促進する必要がある。								
指標		指標名称（単位）				実績値			目標値	
成果指標	講座数（講座）	27年度	28年度	29年度	30年度	32年度				
成果指標	市民講座及びものづくり体験教室受講者数（人）	15	15	16	16	16				
他市との比較検証	近隣市においても、市民が多様な学習機会の提供を受けることができるよう地域の特性や公共的課題を鑑み、多種多様な講座を開催し、生涯学習の推進を行っている。									
C 事業 コスト 建設事業	単位：千円	27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（予算）	29年度事業費内訳				
	事業費 ①	3,148	3,049	3,062	0	合計	3,062,325 円			
	財源	特定財源	743	751	781	0	報償費	1,284,000 円		
		一般財源	2,405	2,298	2,281	0	需用費	180,325 円		
	職員人件費 ②	6,268	6,252	6,204	0	役務費	56,000 円			
	総事業費（①+②）	9,416	9,301	9,266	0	委託料	1,069,200 円			
建設事業	全体事業費（単位：千円）	0		29年度特定財源名称						
	29年度までの累積事業費	0		市民講座受講料						
	31年度以降の事業費見込	0								
						使用料及び賃借料	472,800 円			

会計名			家庭教育地域推進事業				担当部	教育部		
一般会計							担当課	生涯学習課		
款	項	目					担当係	推進係		
10	6	1								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	生涯学習							
		施策の内容	学習活動の支援							
	目的	核家族化が進み、子どもへの接し方がわからないと不安を抱える親が増加している現状に対し、家庭教育の重要性を認識する必要があるため、各種事業を地域において実施し、家庭や地域の教育力の向上を図る。				主たる内容	○小学校区家庭教育推進協議会への事業委託			
	位置づけ									
	関連計画									
	根拠法令									
	対象者	市民			事業期間	～				
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	B 事業実績 D 実績 O 実施 V	27年度実績		28年度実績		29年度実績		30年度計画		
平成小学校区家庭教育地域推進協議会 実績3,270人 ・親子ふれあい遊び塾 ・地域とともに防災活動 ・引き渡し訓練		平成小学校区家庭教育地域推進協議会（平成小学校） 実績2,935人 ・親子ふれあい遊び塾 ほか 平成小学校区家庭教育地域推進協議会（平成幼稚園） 実績1,442人 ・体を動かして遊ぼう ほか		住吉小学校区家庭教育地域推進協議会 実績8,942人（延べ人数） ・50周年記念行事 ・ボランティア活動 ・児童体験教室 ・防災活動		住吉小学校区家庭教育地域推進協議会				
成果		学校、家庭、地域が協力して家庭教育地域活動、親子等ふれあい活動を行い、家庭教育への意識の高揚が図られた。								
課題		事業を委託する学校により活動内容が異なるため、参加者の増減のみで事業の達成度を評価することが困難である。								
指標名称（単位）				実績値			目標値			
				27年度	28年度	29年度	30年度	32年度		
活動指標		家庭教育地域推進事業の実施			実施	実施	実施	継続実施	継続実施	
指標										
他市との比較検証										
C 事業コスト		単位：千円		27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（予算）	29年度事業費内訳		
	事業費 ①		270	540	270	270	合計	270,000 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料	270,000 円		
		一般財源	270	540	270	270				
	職員人件費 ②		2,115	2,501	2,094	2,106				
	総事業費（①+②）		2,385	3,041	2,364	2,376				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		29年度特定財源名称				
29年度までの累積事業費		0								
31年度以降の事業費見込		0								



会計名			P T A 活動育成事業				担当部	教育部	
一般会計							担当課	生涯学習課	
款	項	目					担当係	推進係	
10	6	1							
P L A 事 業 概 要 計 画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	生涯学習						
		施策の内容	学習活動の支援						
	目的	P T A 会員の教養の向上や相互の親睦を図ることにより、P T A 活動の育成を図る。		主たる内容	○ P T A 連絡協議会育成補助 ○ 全国大会参加補助 ○ 東海北陸大会参加補助 ○ 会場借上料補助				
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令							
		対象者	各小中学校 P T A	事業期間	～				
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B D O 実 績 実 施 V	27年度実績		28年度実績		29年度実績		30年度計画	
		・ P T A 連絡協議会総会 ・ P T A 研究大会及び情報交換会 ・ 東海・北陸ブロック P T A 研究大会小松大会 ・ 日本 P T A 全国研究大会札幌大会 ・ 県・三河 P T A 連絡協議会各種事業		・ P T A 連絡協議会総会 ・ P T A 研究大会及び情報交換会 ・ 東海・北陸ブロック P T A 研究大会名古屋大会 ・ 日本 P T A 全国研究大会徳島うずしお大会 ・ 県・三河 P T A 連絡協議会各種事業		・ P T A 連絡協議会総会 ・ P T A 研究大会及び情報交換会 ・ 東海・北陸ブロック P T A 研究大会敦賀大会 ・ 日本 P T A 全国研究大会仙台大会 ・ 県・三河 P T A 連絡協議会各種事業		・ P T A 連絡協議会総会 ・ P T A 研究大会及び情報交換会 ・ 東海・北陸ブロック P T A 研究大会愛知大会 ・ 日本 P T A 全国研究大会新潟大会 ・ 県・三河 P T A 連絡協議会各種事業	
成果		総会、研究大会などの実施により P T A 活動の活性化を図ることができた。							
課題		毎年行われる全国大会・東海北陸大会の開催地や活動発表の有無により参加人数が異なり、それに合わせて補助額が増減する。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			27年度	28年度	29年度	30年度	32年度		
活動指標		P T A 総会など各種研修会の実施		実施	実施	実施	継続実施	継続実施	
指標									
他市との比較検証									
C 事 業 コ ス ト 建 設 事 業		単位：千円		27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（予算）	29年度事業費内訳	
	事業費 ①		395	394	363	517	合計	363,000 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	負担金、補助及び交付金	363,000 円	
		一般財源	395	394	363	517			
	職員人件費 ②		2,507	2,892	2,481	2,496			
	総事業費（①+②）		2,902	3,286	2,844	3,013			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		29年度特定財源名称			
29年度までの累積事業費		0							
31年度以降の事業費見込		0							

会計名			生涯学習推進事業				担当部	教育部		
一般会計							担当課	生涯学習課		
款	項	目					担当係	推進係		
10	6	1								
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	生涯学習							
		施策の内容	学習活動の支援							
	目的	刈谷市生涯学習推進計画に基づき各種事業を実施することで、市民の学習活動への取組みを支援する。			主たる内容	○生涯学習啓発用品購入 ○生涯学習に関する研修会の開催				
	位置づけ	関連計画	刈谷市生涯学習推進計画							
		根拠法令								
		対象者	市民		事業期間	～				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	D 実績	27年度実績		28年度実績		29年度実績		30年度計画		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>生涯学習推進会議</li> <li>職員研修会</li> <li>指導者研修会</li> <li>生涯学習リーダー基礎知識講座</li> <li>生涯学習リーダーステップアップ研修</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>生涯学習推進会議</li> <li>職員研修会</li> <li>グループ・サークル研修会</li> <li>生涯学習リーダーステップアップ研修</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>生涯学習推進会議</li> <li>職員研修会</li> <li>指導者研修会</li> <li>生涯学習リーダー基礎知識講座</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>生涯学習推進会議</li> <li>職員研修会</li> <li>グループ・サークル研修会</li> <li>生涯学習リーダーステップアップ研修</li> </ul>		
成果		生涯学習指導者に対し研修会を実施し、生涯学習活動への取組みを支援することができた。								
課題		生涯学習リーダーの活動が継続して行われるよう引き続き支援をする必要がある。								
指標名称（単位）			実績値			目標値				
			27年度	28年度	29年度	30年度	32年度			
成果指標	生涯学習推進員（生涯学習リーダー）の人数（人）		27	39	27	32	37			
成果指標	グループ・サークル名簿登録団体数（団体）		197	199	203	230	300			
他市との比較検証										
C 事業コスト	単位：千円		27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（予算）	29年度事業費内訳			
	事業費 ①		1,626	1,534	1,901	1,792	合計 1,900,980 円			
	財源	特定財源	0	0	0	0	報償費 193,900 円			
		一般財源	1,626	1,534	1,901	1,792	旅費 13,600 円			
	職員人件費 ②		5,327	5,627	5,583	4,056	需用費 1,408,580 円			
	総事業費（①+②）		6,953	7,161	7,484	5,848	使用料及び賃借料 284,900 円			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		29年度特定財源名称				
29年度までの累積事業費		0								
31年度以降の事業費見込		0								

会計名 一般会計			公民館事務費事業				担当部	教育部	
款	項	目					担当課	生涯学習課	
10	6	1	担当係		推進係				
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	生涯学習						
		施策の内容	学習活動の支援						
	目的	愛知県公民館連合会・西三河公民館連絡協議会の実施する事業へ参加することにより、公民館事業の円滑な実施を図る。			主たる内容		中央公民館長表彰に要する経費のほか、愛知県公民館連合会・西三河公民館連絡協議会の実施する公民館関係事業へ参加するための経費を支出する。		
	位置づけ	関連計画		根拠法令					
	対象者	市民			事業期間	～			
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input checked="" type="checkbox"/> その他							
	B 事業 D 実績 O 実施 V	27年度実績		28年度実績		29年度実績		30年度計画	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>中央公民館長表彰4名</li> <li>県公民館連合会理事会</li> <li>県公民館主事部会代表者会</li> <li>県公民館連合会総会</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>中央公民館長表彰4名</li> <li>県公民館連合会理事会</li> <li>県公民館主事部会代表者会</li> <li>県公民館連合会総会</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>中央公民館長表彰10名</li> <li>県公民館連合会理事会</li> <li>県公民館主事部会代表者会</li> <li>県公民館連合会総会</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>中央公民館長表彰14名</li> <li>県公民館連合会理事会</li> <li>県公民館主事部会代表者会</li> <li>県公民館連合会総会</li> </ul>	
		成果	中央公民館長表彰の実施により、多年にわたる公民館活動への取組みを広く知らしめるとともに、他の者への活動の励みとなった。 県の主催する公民館関係事業へ参加することにより、各市町の活動状況などを把握することができた。						
課題		毎年総合式典に合わせて行われる中央公民館長表彰の対象者数により、記念品費などが増減する。 各種会議での報告は、会議へ参加しなくても書面で十分な場合がある。							
O 実施 V	指標名称（単位）				実績値		目標値		
					27年度	28年度	29年度	30年度	32年度
	活動指標	中央公民館長表彰実施及び各種会議参加			実施	実施	実施	継続実施	継続実施
他市との比較検証									
C 事業 コスト	単位：千円		27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（予算）	29年度事業費内訳		
	事業費 ①		38	85	92	150	合計	91,898 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	報償費	20,000 円	
		一般財源	38	85	92	150	旅費	35,880 円	
	職員人件費 ②		2,115	2,501	3,257	2,496	需用費	7,158 円	
	総事業費（①+②）		2,153	2,586	3,349	2,646	負担金、補助及び交付金	28,860 円	
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		29年度特定財源名称			
29年度までの累積事業費		0							
31年度以降の事業費見込		0							

会計名			公共施設予約案内システム管理事業				担当部	教育部		
一般会計							担当課	生涯学習課		
款	項	目					担当係	施設係		
10	6	1								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	生涯学習							
		施策の内容	生涯学習施設の利用促進							
	目的	パソコンや携帯電話により、公共施設の空き状況の確認や利用予約を可能とするシステムを運用することで、利用者の利便性を高めるとともに、事務の効率化を図る。	主たる内容	○システム運用保守管理委託 ○システム機器リース						
	位置づけ	関連計画								
		根拠法令	刈谷市公共施設予約案内システムに関する規則							
		対象者	対象者を限定せず	事業期間	平成13年度～					
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 計画 実施 V	27年度実績		28年度実績		29年度実績		30年度計画		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>運用保守管理委託</li> <li>機器リース</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>運用保守管理委託</li> <li>機器リース</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>運用保守管理委託</li> <li>機器リース</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>運用保守管理委託</li> <li>機器リース</li> <li>機器更新</li> </ul>		
成果		利用者は公共施設を利用するにあたり、予約手続きが容易になるとともに、施設側では使用料の現金収納が減ること、事務の簡素化及び現金の紛失・盗難のリスクを回避することができた。								
課題		システムの利用推進を図るため、予約案内システムを広く周知し、システムによる予約申込件数を増加させる。								
指標名称（単位）			実績値			目標値				
			27年度	28年度	29年度	30年度	32年度			
成果指標		システムによる施設予約申込件数（件）		80,815	81,970	84,839	85,000	86,000		
指標										
他市との比較検証		あいち共同利用型施設予約システム 安城市、知立市始め県内16市町 独自システム 碧南市、刈谷市ほか システム未導入 高浜市								
C 事業コスト		単位：千円		27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（予算）	29年度事業費内訳		
	事業費①		11,024	10,922	10,674	14,318	合計	10,673,871円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	188,514円		
		一般財源	11,024	10,922	10,674	14,318	役務費	147,885円		
	職員人件費②		3,996	3,751	3,722	2,769	委託料	9,359,640円		
	総事業費（①+②）		15,020	14,673	14,396	17,087	使用料及び賃借料	977,832円		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		29年度特定財源名称				
29年度までの累積事業費		0								
31年度以降の事業費見込		0								

会計名 一般会計			市民館施設管理事業				担当部	教育部		
款	項	目					担当課	生涯学習課		
10	6	1					担当係	施設係		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	生涯学習							
		施策の内容	生涯学習施設の利用促進							
	目的	指定管理者により、適切な施設の管理運営を行い、地区活動の活性化及び生涯学習の推進を図る。				主たる内容	○指定管理者による維持管理業務 ○市民館の修繕及び樹木管理			
	位置づけ	関連計画	刈谷市生涯学習推進計画							
			根拠法令	刈谷市コミュニティ施設条例、刈谷市市民館施設維持管理要綱						
		対象者	市民			事業期間	昭和61年度～			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 O 実施 V	27年度実績		28年度実績		29年度実績		30年度計画		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>施設修繕</li> <li>樹木剪定委託</li> <li>指定管理料（全22館）</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>施設修繕</li> <li>樹木剪定委託</li> <li>指定管理料（全22館）</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>施設修繕</li> <li>樹木剪定委託</li> <li>指定管理料（全22館）</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>施設修繕</li> <li>樹木剪定委託</li> <li>指定管理料（全22館）</li> </ul>		
成果		指定管理者である各市民館運営委員会からの報告や経年劣化状況を踏まえ、施設に対する修繕及び樹木の剪定を行った。								
課題		今後とも地域の実情に応じ、地域に愛される市民館として、適切に施設の管理運営を実施するため、指定管理者である各市民館運営委員会との連携を密にし、施設の状況把握に努める。								
指標		指標名称（単位）				実績値			目標値	
		27年度	28年度	29年度	30年度	32年度				
成果指標	利用者満足度（％）	59.1	82.0	95.5	90.0	90.0				
指標										
他市との比較検証	類似事例なし									
C 事業コスト	単位：千円		27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（予算）	29年度事業費内訳			
	事業費①		22,949	24,682	24,281	25,293	合計	24,281,242 円		
	財源	特定財源	44	50	39	31	需用費	2,535,917 円		
		一般財源	22,905	24,632	24,242	25,262	役務費	166,808 円		
	職員人件費②		2,429	3,087	3,296	2,379	委託料	21,578,517 円		
	総事業費（①+②）		25,378	27,769	27,577	27,672				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		29年度特定財源名称				
29年度までの累積事業費		0		行政財産目的外使用料						
31年度以降の事業費見込		0								

会計名			市民館施設補修事業				担当部	教育部		
一般会計							担当課	生涯学習課		
款	項	目					担当係	施設係		
10	6	1								
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	生涯学習							
		施策の内容	生涯学習施設の利用促進							
	目的	施設又は設備の老朽化に伴う補修等を行うことで、安全で快適な施設を維持する。				主たる内容	○施設又は設備の補修工事 ○施設又は設備の修繕			
	位置づけ	関連計画	刈谷市生涯学習推進計画							
			根拠法令	刈谷市コミュニティ施設条例						
			対象者	市民			事業期間	～		
			実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 実施	27年度実績		28年度実績		29年度実績		30年度計画		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>空調機取替 一里山、西部市民館</li> <li>外壁改修 中部、高津波市民館</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>空調機取替 桜市民館</li> <li>外壁改修 一里山、築地、小山、桜、西部市民館</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>屋上防水改修 中部、高津波、高須市民館</li> <li>外壁改修 高須市民館</li> <li>駐車場等改修 熊市民館</li> <li>大規模改造工事設計委託 西境市民館</li> </ul>		※市民館施設改修事業に移行		
成果		公共施設維持保全計画及び指定管理者である各市民館運営委員会との補修箇所の協議に基づき、施設又は設備の修繕を行い、適切な施設の維持管理を行った。								
課題		空調機については、各市民館の建設年次及び空調機の設置年次からの経過年数を基に取替計画を策定し、各市民館運営委員会からの故障・不具合報告を踏まえ、計画的に実施する。今後、経年劣化により設備の不具合の増加も予想されることから、常に各市民館の状況を把握していく必要がある。								
指標名称（単位）				実績値			目標値			
				27年度	28年度	29年度	30年度	32年度		
活動指標		空調機更新率（％）			76.8	79.0	79.0	79.0	88.4	
活動指標		外壁改修率（％）			13.6	36.4	40.9	45.5	68.2	
他市との比較検証		類似事例なし								
C 事業コスト		単位：千円		27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（予算）	29年度事業費内訳		
	事業費 ①		13,227	24,157	30,730	0	合計	30,730,320 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料	4,104,000 円		
		一般財源	13,227	24,157	30,730	0	工事請負費	26,626,320 円		
	職員人件費 ②		979	2,149	2,365	1,989				
	総事業費（①+②）		14,206	26,306	33,095	1,989				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		29年度特定財源名称				
29年度までの累積事業費		0								
31年度以降の事業費見込		0								

会計名 一般会計			集会所設置等補助事業				担当部	教育部	
款	項	目					担当課	生涯学習課	
10	6	1					担当係	施設係	
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	生涯学習						
		施策の内容	生涯学習施設の利用促進						
	目的	集会所の施設や設備の設置等に係る費用を補助することで、地区住民の負担軽減を図るとともに、地区活動の拠点を確保する。			主たる内容	集会所の修繕費補助			
	位置づけ	関連計画							
		根拠法令	集会所設置等補助金交付要綱						
		対象者	市民	事業期間	～				
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B D O 実績	27年度実績		28年度実績		29年度実績		30年度計画	
		_____		・井ヶ谷北集会所の修繕費補助 ・小山集会所の修繕費補助		・大原集会所の修繕費補助		_____	
成果		地区で設置した集会所の修繕費用を補助し、集会所を安全で快適な施設とすることにより、地区のコミュニティ活動の活性化に寄与した。							
課題		施設や設備の老朽化に伴う不具合の増加が予想されることから、集会所の状況を把握する必要がある。							
指標名称（単位）				実績値			目標値		
				27年度	28年度	29年度	30年度	32年度	
活動指標	補助実績件数（件）			0	2	1	0	0	
成果指標	補助により運営を維持できた集会所数（箇所）			33	33	33	33	33	
他市との比較検証	類似事例なし								
C 事業コスト	単位：千円		27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（予算）	29年度事業費内訳		
	事業費 ①		845	2,932	96	0	合計 95,800 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	負担金、補助及び交付金 95,800 円		
		一般財源	845	2,932	96	0			
	職員人件費 ②		901	1,797	1,628	0			
	総事業費（①+②）		1,746	4,729	1,724	0			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		29年度特定財源名称			
29年度までの累積事業費		0							
31年度以降の事業費見込		0							

会計名			施設管理事業				担当部	教育部		
一般会計							担当課	生涯学習課		
款	項	目					担当係	施設係		
10	6	11								
PLAN 事業概要 計画V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	生涯学習							
		施策の内容	生涯学習施設の利用促進							
	目的	指定管理者により、適切に市民休暇村の管理運営を行い、市民の福祉の増進を図る。	主たる内容	○市民休暇村の維持管理 ○指定管理者による管理運営						
	位置づけ	関連計画								
		根拠法令		刈谷市民休暇村条例、刈谷市民休暇村条例施行規則						
		対象者	市民	事業期間	平成10年度～					
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業 実績 D 実績 O 実績 V	27年度実績		28年度実績		29年度実績		30年度計画		
		・指定管理者による管理運営 ・施設の修繕		・指定管理者による管理運営 ・施設の修繕		・指定管理者による管理運営 ・施設の修繕		・指定管理者による管理運営 ・施設の修繕		
成果		指定管理者により市民休暇村を適切に管理運営し、市民の福祉の増進を図った。								
課題		80%を超える客室稼働率を維持しているが、近年の傾向や施設の老朽化などから現状ではこれ以上の大幅な増加は見込めない。リピーターの割合が高いため、新規利用者の獲得に努めることにより、稼働率の維持を図る必要がある。								
指標名称（単位）			実績値			目標値				
			27年度	28年度	29年度	30年度	32年度			
成果指標	年間客室稼働率（%）		81.4	82.3	81.0	80.0	80.0			
指標										
他市との比較検証	尾張旭市「尾張あさひ苑（阿智村）」継続運営 豊田市「リゾート安曇野」H31.3.31廃止予定 岡崎市「桑谷山荘」H23.12.31廃止済、碧南市「車山みどり山荘」H23.3.30廃止済									
C 事業 コスト V	単位：千円		27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（予算）	29年度事業費内訳			
	事業費①		100,697	100,599	98,879	100,626	合計	98,879,017円		
	財源	特定財源	1	1	1	11	需用費	648,000円		
		一般財源	100,696	100,598	98,878	100,615	役務費	58,550円		
	職員人件費②		2,037	3,204	3,102	1,989	委託料	91,972,000円		
	総事業費（①+②）		102,734	103,803	101,981	102,615	使用料及び賃借料	3,634,907円		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		29年度特定財源名称				
29年度までの累積事業費		0		行政財産目的外使用料						
31年度以降の事業費見込		0								
負担金、補助及び交付金				2,565,560円						



会計名			北部生涯学習センター施設管理事業				担当部	教育部		
一般会計							担当課	生涯学習課		
款	項	目					担当係	施設係		
10	6	12								
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	生涯学習							
		施策の内容	生涯学習施設の利用促進							
	目的	指定管理者により施設の適切な管理運営を行い、生涯学習の推進を図る。	主たる内容	○北部生涯学習センターの維持管理 ○指定管理者による管理運営						
	位置づけ	関連計画		刈谷市生涯学習推進計画						
		根拠法令		刈谷市生涯学習センター条例、刈谷市生涯学習センター条例施行規則						
		対象者	対象者を限定せず	事業期間	平成20年度～					
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 実施	27年度実績		28年度実績		29年度実績		30年度計画		
		・指定管理者による管理運営		・指定管理者による管理運営		・指定管理者による管理運営		・指定管理者による管理運営		
成果		市民の生涯学習の拠点として、指定管理者により適切に施設の管理運営を行い、生涯学習を推進した。								
課題		利用者の意見を反映し、一層の利用率の向上を図り、より良い施設運営を継続する。								
指標名称（単位）			実績値			目標値				
			27年度	28年度	29年度	30年度	32年度			
成果指標		北部生涯学習センター稼働率（％）		28.7	30.7	33.0	34.0	35.0		
指標										
他市との比較検証		知立市文化会館 花しょうぶホール 293席 安城市アンフォーレ ホール 255席 碧南市芸術文化ホール エメラルドホール 452席								
C 事業コスト		単位：千円		27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（予算）	29年度事業費内訳		
	事業費①		112,237	108,324	116,050	100,213	合計	116,050,261円		
	財源	特定財源	13,536	14,031	16,004	16,406	役務費	49,468円		
		一般財源	98,701	94,293	100,046	83,807	委託料	111,527,651円		
	職員人件費②		2,037	2,735	2,714	1,599	使用料及び賃借料	142,224円		
	総事業費（①+②）		114,274	111,059	118,764	101,812	備品購入費	4,330,918円		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		29年度特定財源名称				
29年度までの累積事業費		0		北部生涯学習センター使用料 行政財産目的外使用料						
31年度以降の事業費見込		0								

会計名			南部生涯学習センター施設管理事業				担当部	教育部		
一般会計							担当課	生涯学習課		
款	項	目					担当係	施設係		
10	6	12								
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	生涯学習							
		施策の内容	生涯学習施設の利用促進							
	目的	生涯学習施設として良好な維持管理に努め、利用者の利便性を向上させ、生涯学習の推進を図る。			主たる内容	南部生涯学習センターの管理運営				
	位置づけ	関連計画	刈谷市生涯学習推進計画							
		根拠法令	刈谷市生涯学習センター条例、刈谷市生涯学習センター条例施行規則							
		対象者	対象者を限定せず		事業期間	平成13年度～				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業 実績	27年度実績		28年度実績		29年度実績		30年度計画		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・需用費（光熱水費・修繕料ほか）</li> <li>・役務費（電話料ほか）</li> <li>・委託料 建物清掃業務委託 設備等保守管理業務委託 警備保障委託 樹木管理業務委託ほか</li> <li>・使用料及び賃借料（下水道使用料ほか）</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・需用費（光熱水費・修繕料ほか）</li> <li>・役務費（電話料ほか）</li> <li>・委託料 建物清掃業務委託 設備等保守管理業務委託 警備保障委託 樹木管理業務委託ほか</li> <li>・使用料及び賃借料（下水道使用料ほか）</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・需用費（光熱水費・修繕料ほか）</li> <li>・役務費（電話料ほか）</li> <li>・委託料 建物清掃業務委託 設備等保守管理業務委託 警備保障委託 樹木管理業務委託ほか</li> <li>・使用料及び賃借料（下水道使用料ほか）</li> </ul>		・指定管理者による管理運営		
成果		個人利用者を含む、多くの利用者が快適に利用できるよう適切な管理を行った。								
課題		施設の適切かつ効率的な維持管理（節電などの強化）を行いながら、利用者に快適に利用していただけるよう、施設の管理運営を行う必要がある。								
O 実施	指標名称（単位）				実績値		目標値			
					27年度	28年度	29年度	30年度	32年度	
	成果指標	南部生涯学習センター稼働率（%）			40.3	41.5	42.9	43.0	44.0	
	成果指標	施設利用者人数（人）			43,908	44,557	45,355	46,000	47,000	
他市との比較検証										
C 事業 コスト	単位：千円		27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（予算）	29年度事業費内訳			
	事業費①		95,664	93,406	97,831	0	合計	97,830,885 円		
	財源	特定財源	24,771	24,397	24,919	0	需用費	24,484,273 円		
		一般財源					役務費	270,881 円		
				70,893	69,009	72,912	0	委託料	65,947,541 円	
	職員人件費②		6,268	6,252	6,204	1,599	使用料及び賃借料	2,772,388 円		
	総事業費（①+②）		101,932	99,658	104,035	1,599	備品購入費	4,355,802 円		
建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		29年度特定財源名称					
	29年度までの累積事業費		0		南部生涯学習センター使用料 行政財産目的外使用料					
	31年度以降の事業費見込		0							

会計名			展示閲覧管理事業				担当部	教育部	
一般会計							担当課	生涯学習課	
款	項	目					担当係	施設係	
10	6	12							
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	生涯学習						
		施策の内容	生涯学習施設の利用促進						
	目的	情報・図書コーナー及び加藤与五郎展示室の管理を行い、加藤与五郎博士の功績を紹介するとともに学習意欲の向上を図る。	主たる内容	○加藤与五郎展示室の管理運営 ○収蔵庫の管理 ○情報・図書コーナーの管理運営					
	位置づけ	関連計画		刈谷市文化振興基本計画					
		根拠法令							
		対象者	対象者を限定せず		事業期間	平成13年度～			
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 計画	27年度実績		28年度実績		29年度実績		30年度計画	
		・消耗品費 ・印刷製本費（展示室パンフレット、加藤与五郎の生涯パンフレット印刷） ・委託料（加藤与五郎展示室等くん蒸処理業務委託）		・消耗品費 ・委託料（加藤与五郎展示室等くん蒸処理業務委託）		・消耗品費 ・委託料（加藤与五郎展示室等くん蒸処理業務委託）		※南部生涯学習センター施設管理事業に統合	
成果		多くの市民に加藤与五郎展示室及び学習コーナー・情報コーナーを利用いただいた。							
課題		加藤与五郎展示室利用者の増加と情報・図書コーナーの学習用DVDなどの充実を図る必要がある。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
成果指標		情報コーナー利用者数（人）	1,639	1,429	1,116	1,500	1,500		
成果指標	加藤与五郎展示室利用者数（人）	922	1,037	812	1,000	1,000			
他市との比較検証									
C 事業コスト	単位：千円		27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（予算）	29年度事業費内訳		
	事業費①		1,362	1,092	1,054	0	合計	1,053,743円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	254,543円	
		一般財源	1,362	1,092	1,054	0	委託料	799,200円	
	職員人件費②		1,567	1,563	1,551	0			
	総事業費（①+②）		2,929	2,655	2,605	0			
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		29年度特定財源名称			
		29年度までの累積事業費		0					
31年度以降の事業費見込		0							

会計名			施設管理事業				担当部	教育部		
一般会計							担当課	生涯学習課		
款	項	目					担当係	施設係		
10	6	13								
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	生涯学習							
		施策の内容	生涯学習施設の利用促進							
	目的	指定管理者により、適切に総合文化センターの管理運営を行い、生涯学習の機会及び文化・芸術活動の発表の場を提供する。	主たる内容	○総合文化センターの維持管理 ○指定管理者による管理運営業務						
	位置づけ	関連計画	刈谷市生涯学習推進計画、刈谷市文化振興基本計画							
		根拠法令	刈谷市総合文化センター条例、刈谷市民ホール条例、刈谷市生涯学習センター条例ほか							
	対象者	対象者を限定せず			事業期間	平成21年度～				
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他								
	B 事業 実績	27年度実績		28年度実績		29年度実績		30年度計画		
		・指定管理者による管理運営		・指定管理者による管理運営		・指定管理者による管理運営 ・施設の修繕		・指定管理者による管理運営		
成果		生涯学習及び文化・芸術の拠点として、指定管理者により適切に施設の管理運営を行い、生涯学習の推進及び文化・芸術の振興に寄与した。								
課題		指定管理者により適切に施設の管理運営が行われるようモニタリングを実施し、指定管理者への指導等を行っていく必要がある。								
O 実施	指標名称（単位）		実績値			目標値				
			27年度	28年度	29年度	30年度	32年度			
	成果指標	大ホール稼働率（%）	82.5	81.7	89.6	80.0	80.0			
	成果指標	総合文化センターに対する満足度（%）	93.8	95.5	96.1	90.0	90.0			
他市との比較検証	知立市文化会館 かきつばたホール 1,004席 安城市民会館 サルビアホール 1,200席 碧南市芸術文化ホール エメラルドホール 452席 岡崎市民会館 あおいホール 1,100席									
C 事業 コスト	単位：千円		27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（予算）	29年度事業費内訳			
	事業費 ①		489,800	481,936	478,473	482,048	合計	478,473,329 円		
	財源	特定財源	121,606	116,960	124,801	127,117	需用費	64,369,989 円		
		一般財源	368,194	364,976	353,672	354,931	役務費	683,753 円		
	職員人件費 ②		2,037	3,517	3,024	2,379	委託料	406,434,000 円		
	総事業費（①+②）		491,837	485,453	481,497	484,427	使用料及び賃借料	4,777,587 円		
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		29年度特定財源名称				
29年度までの累積事業費		0		中央生涯学習センター使用料 総合文化センター駐車場使用料						
31年度以降の事業費見込		0		行政財産目的外使用料						
備品購入費		2,160,000 円			負担金、補助及び交付金					
		48,000 円								

会計名			集会所運営費等補助事業				担当部	教育部		
一般会計							担当課	生涯学習課		
款	項	目					担当係	施設係		
10	6	1								
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	生涯学習							
		施策の内容	生涯学習施設の利用促進							
	目的	集会所の運営費等を補助し、地区活動の活性化及び生涯学習活動の場の確保を図る。			主たる内容	○集会所運営費補助 ○集会所借地料補助 ○集会所修繕費補助				
	位置づけ	関連計画								
			根拠法令	集会所設置等補助金交付要綱						
		対象者	市民	事業期間	～					
		実施方法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	BDO 事業実績 計画	27年度実績		28年度実績		29年度実績		30年度計画		
		・集会所運営費補助（33か所） ・集会所借地料補助（9か所） ・集会所修繕費補助		・集会所運営費補助（33か所） ・集会所借地料補助（9か所） ・集会所修繕費補助		・集会所運営費補助（33か所） ・集会所借地料補助（9か所） ・集会所修繕費補助		・集会所運営費補助（33か所） ・集会所借地料補助（9か所） ・集会所修繕費補助		
成果		集会所の維持管理に要する運営費、借地料及び修繕費を補助することにより、地区負担を軽減し、地区活動の拠点を確保に寄与した。 また、4年に1度の制度見直しを行い、社会情勢の変化に伴い工事単価限度額を増額した。								
課題		補助金の額、交付方法及び交付時期については、今後も継続して4年に1度、全庁的な補助金の見直しの時期に合わせて検討する。 また、集会所管理者への制度周知を実施し、集会所の維持に貢献する。								
指標名称（単位）			実績値			目標値				
			27年度	28年度	29年度	30年度	32年度			
活動指標		集会所修繕費補助件数（件）		1	4	2	3	3		
成果指標		補助により運営を維持できた集会所数（箇所）		33	33	33	33	33		
他市との比較検証		類似事例なし								
C 事業コスト		単位：千円		27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（予算）	29年度事業費内訳		
	事業費 ①		8,603	8,583	8,383	10,131	合計 8,383,029 円			
	財源	特定財源	7	7	7	7	負担金、補助及び交付金 8,383,029 円			
		一般財源	8,596	8,576	8,376	10,124				
	職員人件費 ②		2,037	2,266	2,404	1,989				
	総事業費（①+②）		10,640	10,849	10,787	12,120				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		29年度特定財源名称				
		29年度までの累積事業費		0		土地建物貸付収入				
31年度以降の事業費見込		0								

会計名			施設改修事業				担当部	教育部	
一般会計							担当課	生涯学習課	
款	項	目					担当係	施設係	
10	6	13							
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	生涯学習						
		施策の内容	生涯学習施設の利用促進						
	目的	総合文化センターの施設又は設備の老朽化に伴う改修等を行うことで、安全で快適な施設を維持する。			主たる内容	○施設又は設備の改修工事 ○施設又は設備の修繕			
	位置づけ	関連計画 刈谷市生涯学習推進計画、刈谷市文化振興基本計画 根拠法令 刈谷市総合文化センター条例、刈谷市民ホール条例、刈谷市生涯学習センター条例ほか							
	対象者	対象者を限定せず			事業期間	～			
	実施方法	■直営 □委託 □指定管理 □補助・助成 □その他							
	D 実績	27年度実績		28年度実績		29年度実績		30年度計画	
		・駐車場案内看板設置		・ガス焚冷温水発生機冷温水発生ユニット修繕 ・照明制御システム消耗部品更新 ・ガスタービン自家発電設備蓄電池修繕 ・エレベーター改修		・駐車場斜路防滑工事		—	
		成果	老朽化した施設や設備を改修し、大きな問題もなく、通常どおり施設を運営することができた。						
課題		施設の老朽化に伴い、計画的かつ適切に改修を行っていく必要がある。							
指標名称（単位）		実績値			目標値				
成果指標	大ホール稼働率（％）	27年度	28年度	29年度	30年度	32年度			
成果指標	総合文化センターに対する満足度（％）	82.5	81.7	89.6	80.0	80.0			
他市との比較検証	知立市民文化会館 かきつばたホール 1,004席 安城市民会館 サルビアホール 1,200席 碧南市芸術文化ホール エメラルドホール 452席 岡崎市民会館 あおいホール 1,100席								
C 事業コスト	単位：千円	27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（予算）	29年度事業費内訳			
	事業費 ①	1,210	25,132	3,013	0	合計	3,013,200 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	工事請負費	3,013,200 円	
		一般財源	1,210	25,132	3,013	0			
	職員人件費 ②	979	1,211	1,163	2,730				
	総事業費（①+②）	2,189	26,343	4,176	2,730				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）	0		29年度特定財源名称				
29年度までの累積事業費		0							
31年度以降の事業費見込		0							

会計名			施設改修事業				担当部	教育部		
一般会計							担当課	生涯学習課		
款	項	目					担当係	施設係		
10	6	11								
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	生涯学習							
		施策の内容	生涯学習施設の利用促進							
	目的	市民休暇村の施設又は設備の老朽化に伴う改修等を行うことで、安全で快適な施設を維持する。			主たる内容	○施設又は設備の改修工事 ○施設又は設備の修繕				
	位置づけ	関連計画								
			根拠法令	刈谷市民休暇村条例、刈谷市民休暇村条例施行規則						
			対象者	市民		事業期間	～			
			実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	D 実績 O ハ 実 施 V	27年度実績		28年度実績		29年度実績		30年度計画		
		_____		<ul style="list-style-type: none"> <li>・浴場用ろ過器修繕</li> <li>・浄化槽ブローア修繕</li> <li>・浴槽水用配水管修繕</li> <li>・密閉式膨張タンク改修</li> <li>・上水用加圧ポンプ改修</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・浄化槽曝気攪拌用水中ブローア修繕</li> </ul>		_____		
成果		老朽化した施設や設備を改修し、大きな問題もなく、通常どおり施設を運営することができた。								
課題		施設の老朽化に伴い、計画的かつ適切に改修を行っていく必要がある。								
指標名称（単位）					実績値			目標値		
					27年度	28年度	29年度	30年度	32年度	
成果指標	年間客室稼働率（％）	81.4	82.3	81.0	80.0	80.0				
活動指標										
他市との比較検証	尾張旭市「尾張あさひ苑（阿智村）」継続運営 豊田市「リゾート安曇野」H31.3.31廃止予定 岡崎市「桑谷山荘」H23.12.31廃止済、碧南市「車山みどり山荘」H23.3.30廃止済									
C 事業 コスト	単位：千円	27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（予算）	29年度事業費内訳				
	事業費 ①	0	9,601	1,296	0	合計	1,296,000 円			
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	1,296,000 円		
		一般財源	0	9,601	1,296	0				
		職員人件費 ②	0	1,211	1,512	1,599				
		総事業費（①+②）	0	10,812	2,808	1,599				
建設事業	全体事業費（単位：千円）		0	29年度特定財源名称						
	29年度までの累積事業費		0							
	31年度以降の事業費見込		0							

会計名 一般会計			公民館運営事業				担当部	教育部		
款	項	目					担当課	生涯学習課		
10	6	1					担当係	推進係		
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	計画推進							
		基本施策	参加・協働							
		施策の内容	地域活動の推進							
	目的	公民館活動の運営を行い、地区活動の活性化を図り、社会教育の活性化を目指す。				主たる内容	○公民館運営委託 ○備品購入補助 ○公民館連絡協議会補助			
	位置づけ									
	関連計画									
	根拠法令	地区公民館備品等整備事業補助金交付要綱								
	対象者	市民				事業期間	～			
	実施方法	□直営 ■委託 □指定管理 ■補助・助成 □その他								
	BDO 事業実績 O 実施 V	27年度実績		28年度実績		29年度実績		30年度計画		
・公民館運営委託(23地区) ・公民館備品購入補助(21地区) ・公民館連絡協議会補助		・公民館運営委託(23地区) ・公民館備品購入補助(19地区) ・公民館連絡協議会補助		・公民館運営委託(23地区) ・公民館備品購入補助(19地区) ・公民館連絡協議会補助		・公民館運営委託(23地区) ・公民館備品購入補助 ・公民館連絡協議会補助				
成果		各地区公民館へ事業委託及び備品購入補助を行い、公民館活動の活性化を図った。								
課題		各地区の特性を生かした活動が行えるような支援を検討していく必要がある。								
指標名称（単位）				実績値			目標値			
				27年度	28年度	29年度	30年度	32年度		
活動指標		公民館活動事業数（事業）			150	155	158	160	165	
指標										
他市との比較検証										
C 事業コスト		単位：千円		27年度（決算）	28年度（決算）	29年度（決算）	30年度（予算）	29年度事業費内訳		
	事業費①		14,695	13,446	13,728	15,311	合計	13,728,250円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料	10,337,000円		
		一般財源	14,695	13,446	13,728	15,311	負担金、補助及び交付金	3,391,250円		
	職員人件費②		5,719	5,627	4,808	3,666				
	総事業費(①+②)		20,414	19,073	18,536	18,977				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		29年度特定財源名称				
29年度までの累積事業費		0								
31年度以降の事業費見込		0								